

「社会資本総合整備計画事後評価書（素案）」 のパブリックコメントの実施結果

1 実施期間

令和6年12月26日（木）～令和7年1月24日（金）

2 意見提出数

2件

3 意見の内容

- ・ 千住大川端地区住宅市街地総合整備事業の住民意見反映について 1件
- ・ 足立区での大規模マンション整備について 1件

4 意見に対する区の考え方

裏面参照

5 事後評価書への意見反映について

事後評価書の変更を要する意見はありませんでした。

パブリックコメントの意見に対する区の考え方について

	提出された意見	区の考え方
1	千住大川端地区住宅市街地総合整備事業では、官民連携が必ずしもうまくいっておらず、周辺住民意見が反映していない。そのため、効果が次年度に発現としているが不明である。計画や住民意見反映度の公表が必要である。	千住大川端地区では、拠点地区（A工区）の開発計画の具体化にあわせて、道路、公園の整備は、次期計画に位置づけており、整備効果は「次年度」ではなく、「次期計画以降」に発現される見込みとなります。 社会資本総合整備計画において、住民意見反映度の項目は「計画の成果目標」に設けておりませんが、開発計画を進めるにあたっては、開発事業者との連携を密にした上で、地域の皆様の声を反映できるよう、ご意見をお伺いしながら検討を進めてまいります。
2	日本でみると人口減少しているのに、住宅整備、大規模マンションを建てたことは未来の足立区にとってプラスなのではないでしょうか。目先の利益ばかりでこの先 50 年 100 年を考えるなら、地域のつながりを作るまちづくりを市民と共に考えてほしいです。	足立区では、大規模工場の跡地等の土地利用転換にあわせて、居住環境やまちの利便性、防災性の向上を図るため、国の交付金が活用できる住宅市街地総合整備事業を実施し、良好な都市型住宅の建設とともに道路や公園などの公共施設の整備を進めています。 今後も事業の推進が必要な地区があるため、お住まいの皆さんと共に、将来にわたり、地域のつながりが育まれるまちづくりに取り組んでまいります。